RL78/G14

タイマRD タイマモード(PWM機能)

R01AN0867JJ0110
Rev.1.10
2013.06.01

要旨

本アプリケーションノートでは、RL78/G14 のタイマ RD のタイマモード(PWM 機能)(以下、PWM 機能) を使用して、PWM波形を出力する方法を説明します。

対象デバイス

RL78/G14

本アプリケーションノートを他のマイコンへ適用する場合、そのマイコンの使用にあわせて変更し、十分評価してください。

目次

1. 仕様 3
2. 動作確認条件 4
3. ハードウェア説明 5
3.1 ハードウェア構成例 5
3.2 使用端子一覧 5
4. ソフトウェア説明 6
4.1 動作概要 6
4.1.1 出力波形説明 6
4.2 オプション・バイトの設定一覧 8
4.3 関数一覧 8
4.4 関数仕様 8
4.5 フローチャート 10
4.5.1 全体フローチャート 10
4.5.2 初期設定 10
4.5.3 周辺機能初期設定 11
4.5.4 CPU初期設定 11
4.5.5 タイマRD初期設定 12
4.5.6 メイン処理 24
4.5.7 タイマRDカウント開始設定 24
4.5.8 タイマRD0割り込み 26
5. サンプルコード 27
6. 参考ドキュメント 27

1. 仕様

周期100µsのPWM波形を3本出力します。

表 1.1に使用する周辺機能と用途を、図 1.1に出力タイミング図を示します。

表 1.1 使用する周辺機能と用途

周辺機能	用途
タイマRD(タイマRD0)	PWM波形出力

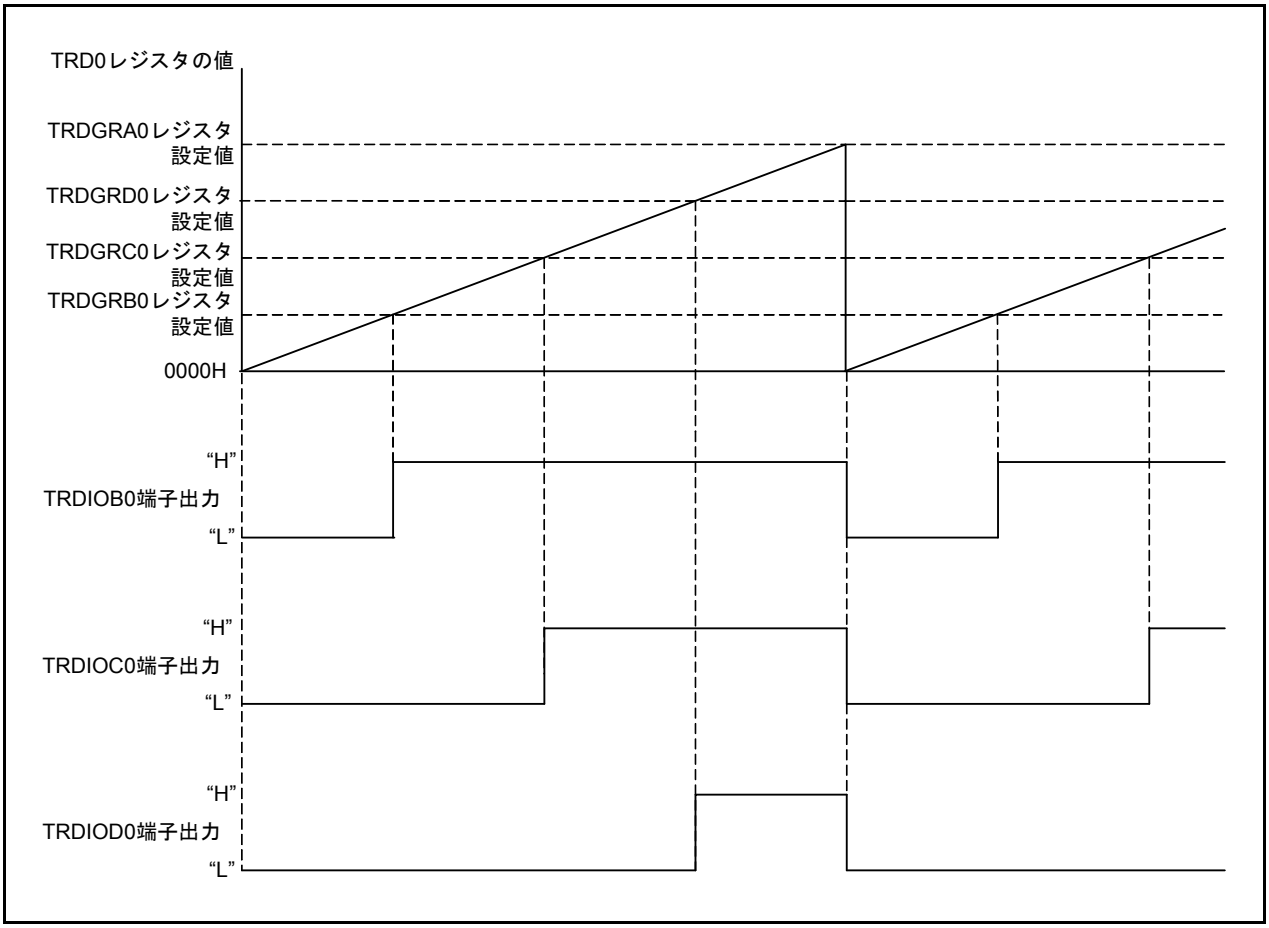


図 1.1 出力タイミング図

2. 動作確認条件

本アプリケーションノートのサンプルコードは、下記の条件で動作を確認しています。

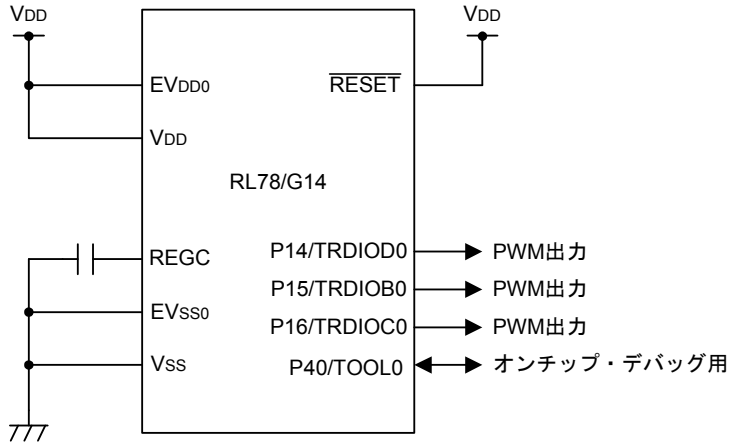
表 2.1 動作確認条件

項目	内容
使用マイコン	RL78G14(R5F104LEA)
動作周波数	• 高速内蔵発振クロック (f_{HOCO})：16MHz(標準) • CPU/周辺ハードウエア・クロック (f_{CLK})：16MHz
動作電圧	5.0V(2.9V～5.5Vで動作可能) LVD動作 (V_{LVI})：リセット・モード 立ち上がり2.81V/立ち下がり2.75V
統合開発環境	ルネサス エレクトロニクス製 CubeSuite+ V1.01.00
Cコンパイラ	ルネサス エレクトロニクス製 CA78K0R V1.30
RL78/G14 コードライブラリ	ルネサス エレクトロニクス製 CodeGenerator for RL78/G14 V1.01.01

3. ハードウェア説明

3.1 ハードウェア構成例

図 3.1に本アプリケーションノートで使用するハードウェア構成例を示します。



注1. この回路イメージは接続の概要を示すために簡略化しています。実際に回路を作成される場合は、端子処理などを適切に行い、電気的特性を満たすように設計してください。(入力専用ポートは個別に抵抗を介してVDDまたはVSSに接続してください)
注2. EVSSで始まる名前の端子がある場合にはVSSに、EVDDで始まる名前の端子がある場合にはVDDにそれぞれ接続してください。
注3. VDDはLVDにて設定したリセット解除電圧(VLVI)以上にしてください。

図 3.1 ハードウェア構成

3.2 使用端子一覧

表 3.1に使用端子と機能を示します。

表 3.1 使用端子と機能

端子名	入出力	内容
P14/TRDIOD0	出力	PWM出力
P15/TRDIOB0	出力	PWM出力
P16/TRDIOC0	出力	PWM出力

4. ソフトウェア説明

4.1 動作概要

PWM機能を使用し、周期100µsのPWM波形を3本出力します。

出力する信号は、以下の通りです。

- TRDIOB0端子出力：非アクティブレベルL期間(25µs) → アクティブレベルH期間(75µs)
- TRDIOC0端子出力：非アクティブレベルL期間(50µs) → アクティブレベルH期間(50µs)
- TRDIOD0端子出力：非アクティブレベルL期間(75µs) → アクティブレベルH期間(25µs)

タイマRDの設定を以下に示します。

＜設定＞
- カウントソースに、f_{CLK}(16MHz)を使用します。
- タイマRD0を使用します。
- TRD0レジスタは、TRDGRA0レジスタとのコンペア一致後もカウントを継続します。
- TRDGRC0レジスタは、ジェネラルレジスタで使用します。
- TRDGRD0レジスタは、ジェネラルレジスタで使用します。
- TRDIOB0、TRDIOC0、TRDIOD0端子を出力許可にします。
- TRDIOB0、TRDIOC0、TRDIOD0端子の出力レベルは アクティブレベルH、初期出力レベルは非アクティブレベルLとします。
- TRD0レジスタとTRD1レジスタは、独立動作に設定します。
- パルス出力強制遮断入力機能は使用しません。
- TRD0レジスタとTRDGRA0レジスタのコンペア一致割り込みを許可にします。

4.1.1 出力波形説明

PWM周期と、各端子から出力するPWM波形の計算式を以下に示します。

図4.1にPWMの出力波形を示します。

(1) PWM周期
PWM周期の計算式は、以下の通りです。
100µs = 1/16MHz × (TRDGRA0 + 1)
= 62.5ns × 1600

(2) TRDIOB0端子のPWM出力
TRDIOB0端子の非アクティブレベルL期間の計算式は、以下の通りです。
25µs = 1/16MHz × (TRDGRB0 + 1)
= 62.5ns × 400

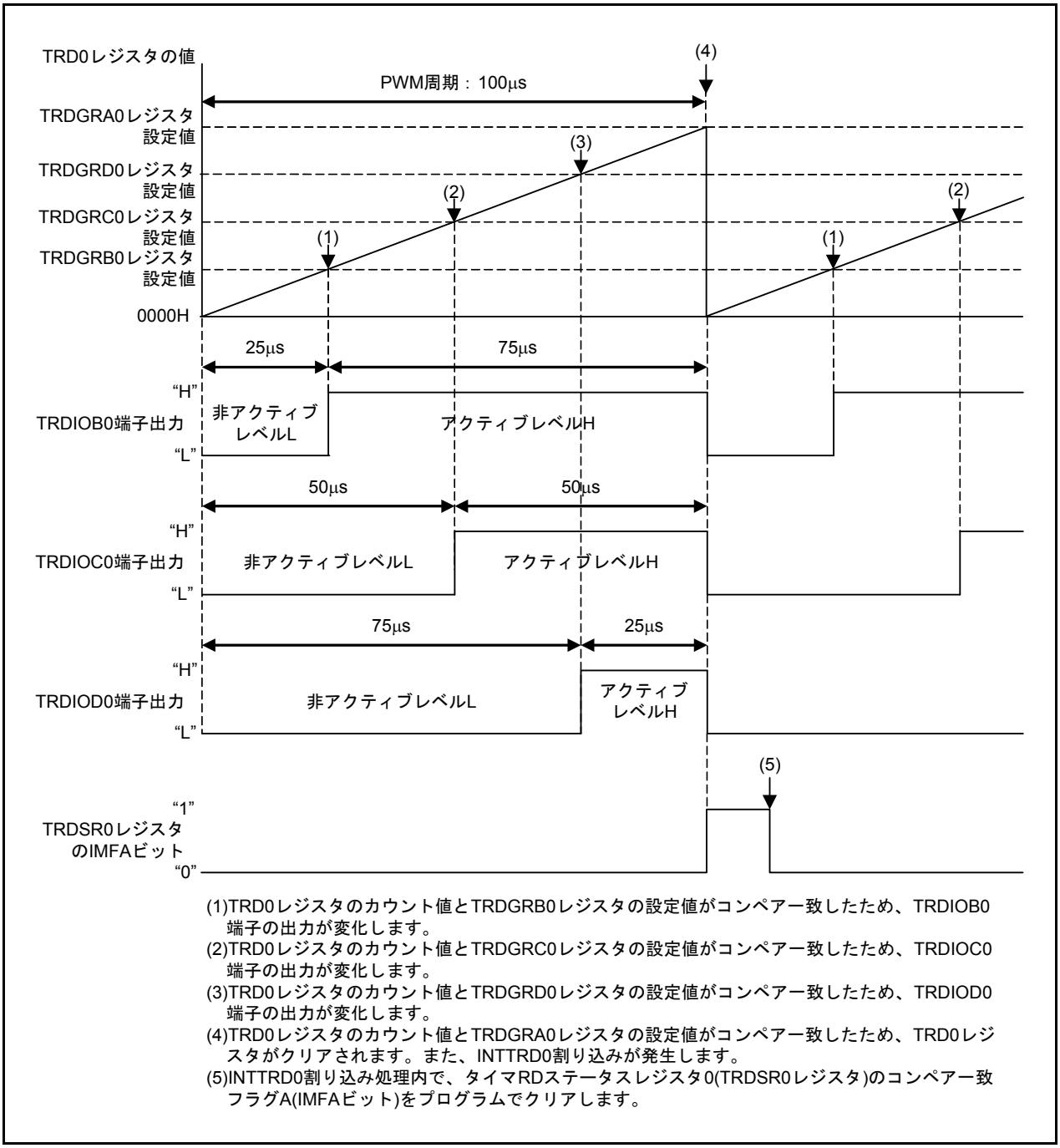
(3) TRDIOC0端子のPWM出力
TRDIOC0端子の非アクティブレベルL期間の計算式は、以下の通りです。
50µs = 1/16MHz × (TRDGRC0 + 1)
= 62.5ns × 800

(4) TRDIOD0端子のPWM出力

TRDIOD0端子の非アクティブレベルL期間の計算式は、以下の通りです。

75µs = 1/16MHz × (TRDGRD0 + 1)

= 62.5ns × 1200



(1)TRD0レジスタのカウント値とTRDGRB0レジスタの設定値がコンペアー致したため、TRDIOB0端子の出力が変化します。
(2)TRD0レジスタのカウント値とTRDGRC0レジスタの設定値がコンペアー致したため、TRDIOC0端子の出力が変化します。
(3)TRD0レジスタのカウント値とTRDGRD0レジスタの設定値がコンペアー致したため、TRDIOD0端子の出力が変化します。
(4)TRD0レジスタのカウント値とTRDGRA0レジスタの設定値がコンペアー致したため、TRD0レジスタがクリアされます。また、INTTRD0割り込みが発生します。
(5)INTTRD0割り込み処理内で、タイマRDステータスレジスタ0(TRDSR0レジスタ)のコンペアー致フラグA(IMFAビット)をプログラムでクリアします。

図 4.1 PWMの出力波形

4.2 オプション・バイトの設定一覧

表 4.1にオプション・バイト設定を示します。

表 4.1 オプション・バイト設定

アドレス	設定値	内容
000C0H/010C0H	11101111B	ウォッチドッグ・タイマ動作停止 （リセット解除後、カウント停止）
000C1H/010C1H	01111111B	LVD リセット・モード 検出電圧：立ち上がり2.81V/立ち下がり2.75V
000C2H/010C2H	11101001B	高速内蔵発振 HSモード 16MHz
000C3H/010C3H	10000100B	オンチップ・デバッグ許可

4.3 関数一覧

表 4.2に関数を示します。

表 4.2 関数

関数名	概要
hdwinit	初期設定
R_Systeminit	周辺機能初期設定
R_CGC_Create	CPU初期設定
R_TMR_RD0_Create	タイマRD初期設定
main	メイン処理
timer_rd0_start	タイマRDカウント開始設定
r_tmr_rd0_interrupt	タイマRD0割り込み

4.4 関数仕様

サンプルコードの関数仕様を示します。

hdwinit

概　要	初期設定
ヘッダ	なし
宣　言	void hdwinit(void)
説　明	周辺機能の初期設定を行います。
引　数	なし
リターン値	なし

R_Systeminit

概　要	周辺機能初期設定
ヘッダ	なし
宣　言	void R_Systeminit(void)
説　明	本アプリケーションノートで使用する周辺機能の初期設定を行います。
引　数	なし
リターン値	なし

R_CGC_Create	
概　要	CPU初期設定
ヘッダ	なし
宣　言	void R_CGC_Create(void)
説　明	CPU初期設定を行います。
引　数	なし
リターン値	なし

R_TMR_RD0_Create	
概　要	タイマRD初期設定
ヘッダ	なし
宣　言	void R_TMR_RD0_Create(void)
説　明	タイマRDのPWM機能を使用するための初期設定を行います。
引　数	なし
リターン値	なし

main	
概　要	メイン処理
ヘッダ	なし
宣　言	void main(void)
説　明	メイン処理を行います。
引　数	なし
リターン値	なし

timer_rd0_start	
概　要	タイマRDカウント開始設定
ヘッダ	なし
宣　言	void timer_rd0_start(void)
説　明	タイマRDカウント開始設定を行います。
引　数	なし
リターン値	なし

r_tmr_rd0_interrupt	
概　要	タイマRD0割り込み
ヘッダ	なし
宣　言	void r_tmr_rd0_interrupt(void)
説　明	●タイマRD0割り込み処理を行います。 ●コンペアー致フラグAをクリアします。
引　数	なし
リターン値	なし

4.5 フローチャート

4.5.1 全体フローチャート

図 4.2に全体フローチャートを示します。

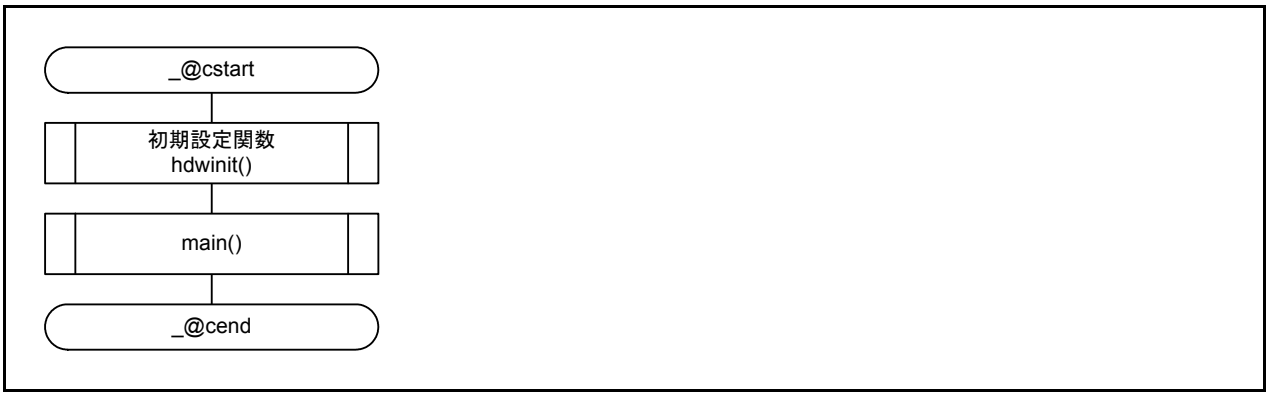


図 4.2 全体フローチャート

4.5.2 初期設定

図 4.3に初期設定のフローチャートを示します。

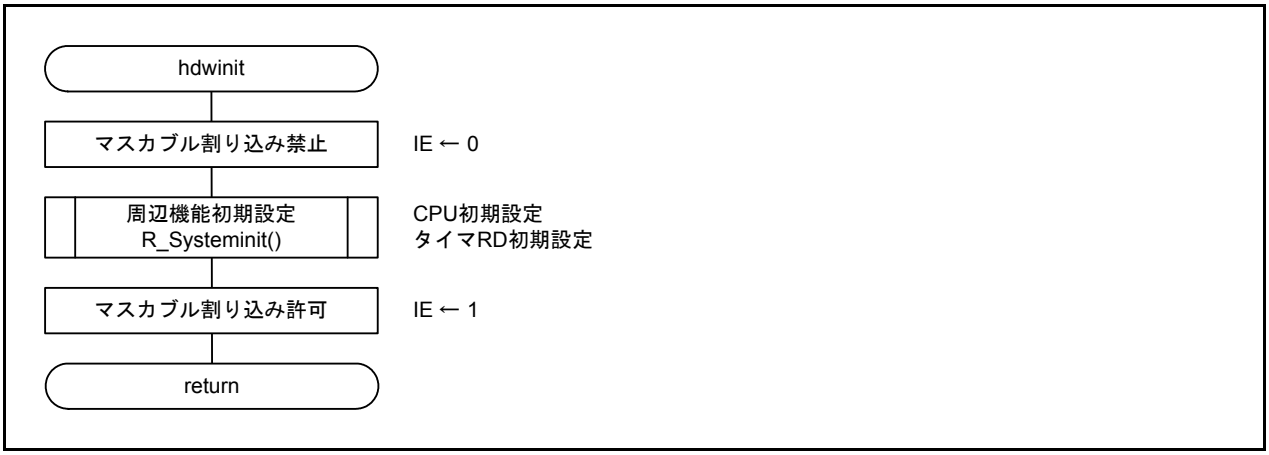


図 4.3 初期設定

4.5.3 周辺機能初期設定

図 4.4に周辺機能初期設定のフローチャートを示します。

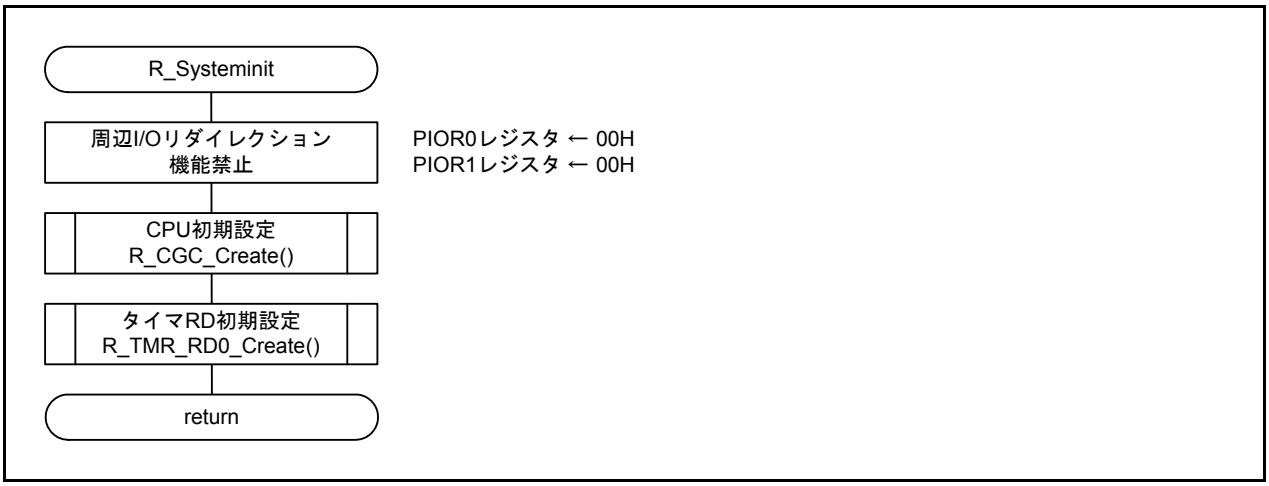


図 4.4 周辺機能初期設定

4.5.4 CPU初期設定

図 4.5にCPU初期設定のフローチャートを示します。

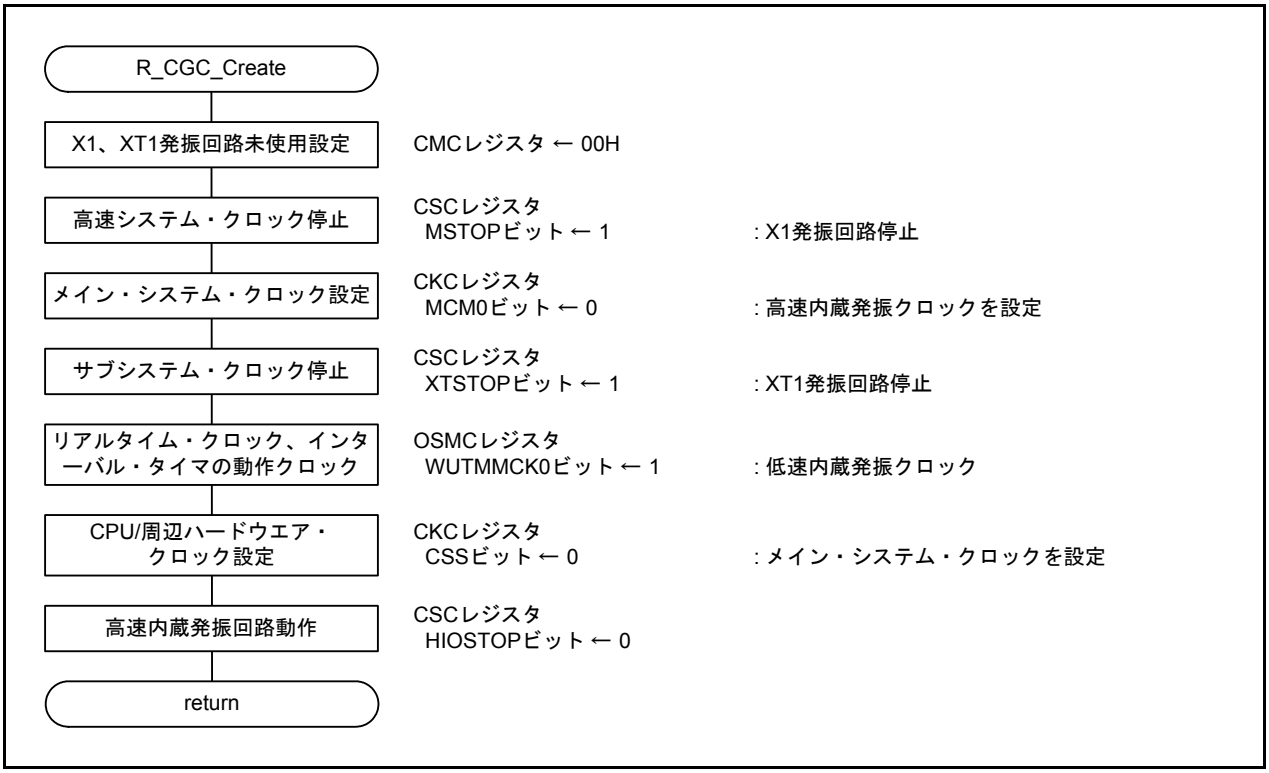


図 4.5 CPU初期設定

4.5.5 タイマRD初期設定

図 4.6、図 4.7にタイマRD初期設定のフローチャートを示します。

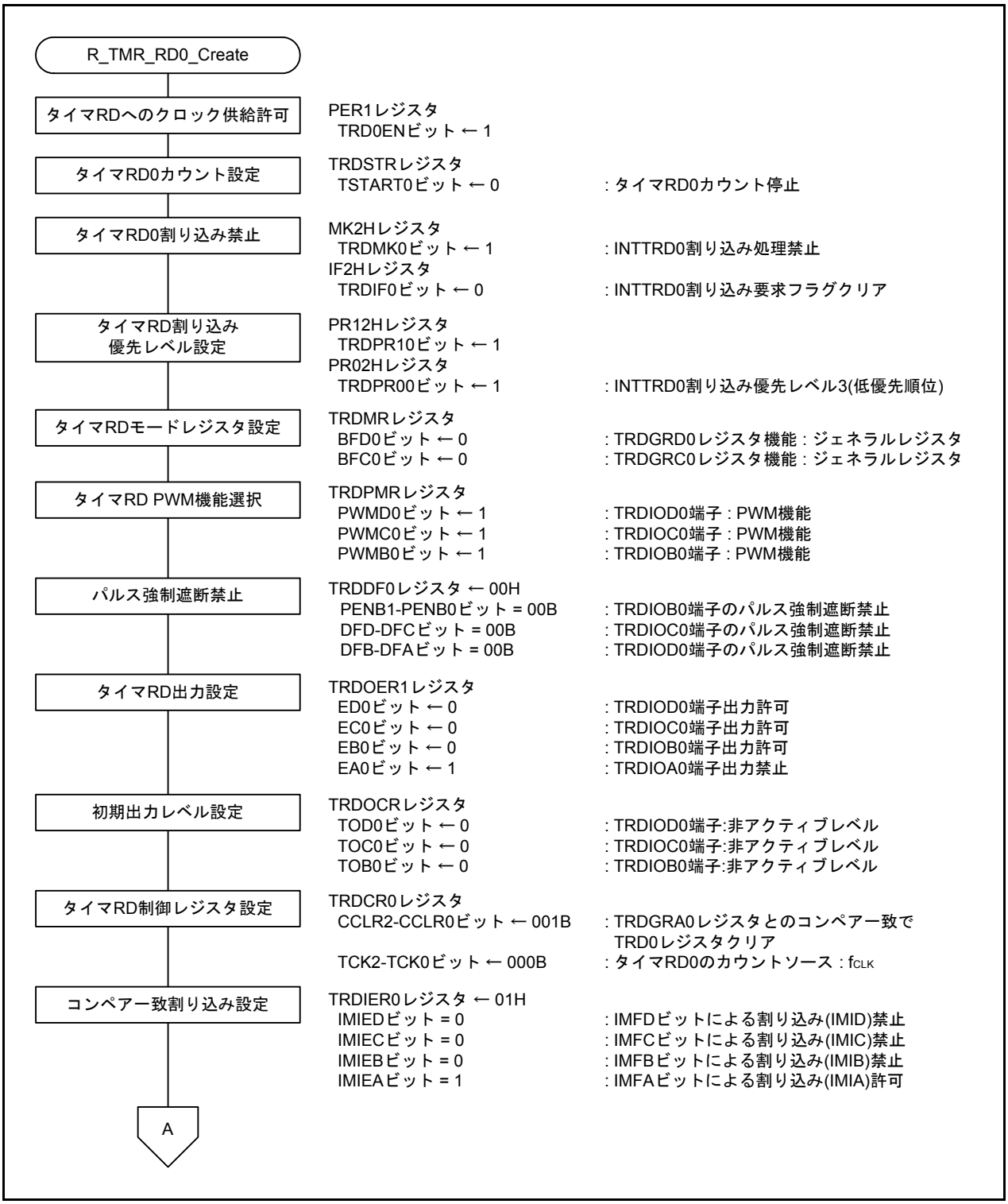


図 4.6 タイマRD初期設定(1/2)

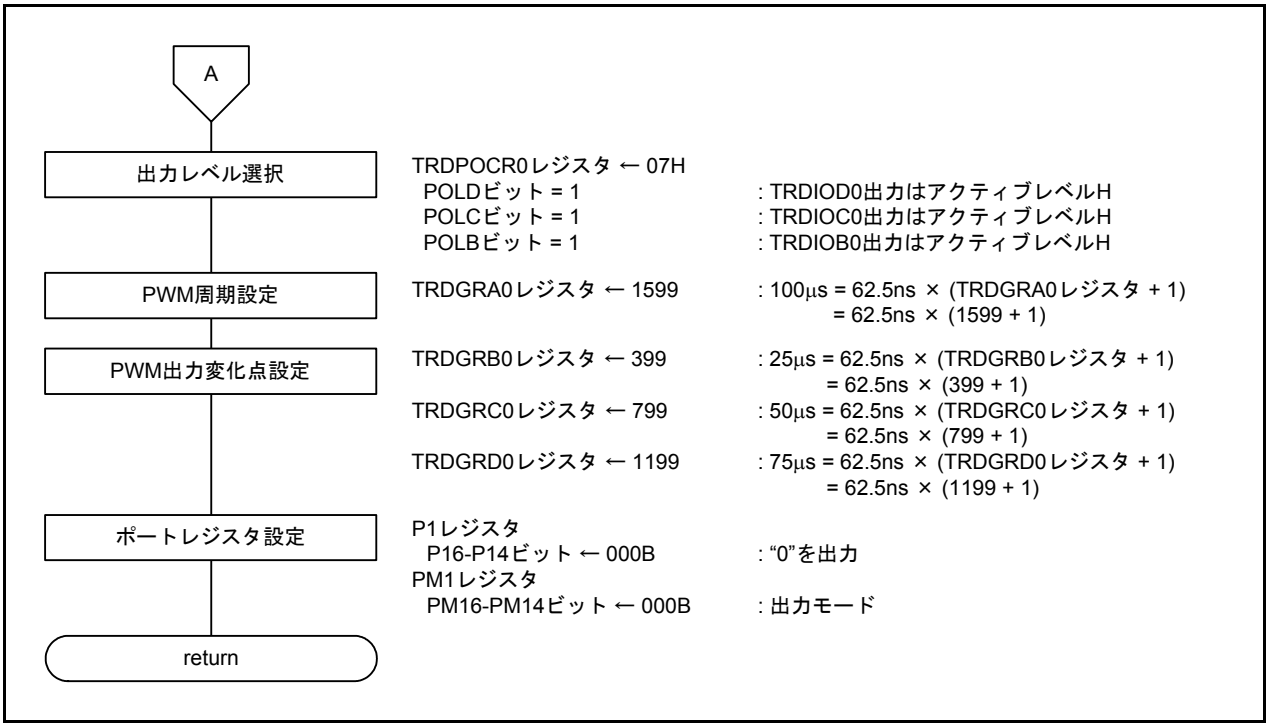


図 4.7 タイマRD初期設定(2/2)

タイマRDへのクロック供給許可

• 周辺イネーブル・レジスタ1(PER1)
タイマRDへのクロック供給を許可にします。

略号	7	6	5	4	3	2	1	0
PER1	DACEN	TRGEN	CMPEN	TRD0EN	DTCEN	0	0	TRJ0EN
設定値	×	×	×	1	×	—	—	×

ビット4

TRD0EN	タイマ RD の入力クロック供給の制御
0	入力クロック供給停止 ・タイマ RD で使用する SFR へのライト不可 ・タイマ RD はリセット状態
1	入力クロック供給 ・タイマ RD で使用する SFR へのリード／ライト可

タイマRD0カウント設定

• タイマRDモードレジスタ(TRDSTR)
タイマRD0のカウントを停止します。

略号	7	6	5	4	3	2	1	0
TRDSTR	—	—	—	—	CSEL1	CSEL0	TSTART1	TSTART0
設定値	—	—	—	—	×		×	0

ビット2

CSEL0	TRD0 カウント動作選択
0	TRDGRA0 レジスタとのコンペアー致でカウント停止
1	TRDGRA0 レジスタとのコンペアー致後もカウント継続

ビット0

TSTART0	TRD0 カウント開始フラグ
0	カウント停止
1	カウント開始

レジスタ設定の詳細については、RL78/G14ユーザーズマニュアルハードウェア編を参照してください。
レジスタ図の設定値
×：使用しないビット、空白：変更しないビット、－：予約ビットまたは、何も配置されていないビット

タイマRD0割り込み禁止

• 割り込みマスク・フラグ・レジスタ(MK2H)
INTTRD0割り込みを禁止に設定します。

略号	7	6	5	4	3	2	1	0
MK2H	FLMK	IICAMK1	1	SREMK3 TMMK13H	TRGMK	TRDMK1	TRDMK0	PMK11 CMPMK1
設定値	×	×	ー	×	×	×	1	×

ビット1

TRDMK0	割り込み処理の制御
0	割り込み処理許可
1	割り込み処理禁止

• 割り込み要求フラグ・レジスタ(IF2H)
INTTRD0割り込み要求フラグをクリアします。

略号	7	6	5	4	3	2	1	0
IF2H	FLIF	IICAIF1	0	SREIF3 TMIF13H	TRGIF	TRDIF1	TRDIF0	PIF11 CMPIF1
設定値	×	×	ー	×	×	×	0	×

ビット1

TRDIF0	割り込み要求フラグ
0	割り込み要求信号が発生していない
1	割り込み要求信号が発生し，割り込み要求状態

レジスタ設定の詳細については、RL78/G14ユーザーズマニュアルハードウェア編を参照してください。
レジスタ図の設定値
×：使用しないビット、空白：変更しないビット、ー：予約ビットまたは、何も配置されていないビット

タイマRD割り込み優先レベル設定

• 優先順位指定フラグ・レジスタ(PR02H、PR12H)
レベル3(低優先順位)に設定します。

略号	7	6	5	4	3	2	1	0
PR02H	FLPR0	IICAPR01	1	SREPR03 TMPR013H	TRGPR0	TRDPR01	TRDPR00	PPR011 CMPPR01
設定値	×	×	ー	×	×	×	1	×

略号	7	6	5	4	3	2	1	0
PR12H	FLPR1	IICAPR11	1	SREPR13 TMPR113H	TRGPR1	TRDPR11	TRDPR10	PPR111 CMPPR11
設定値	×	×	ー	×	×	×	1	×

TRDPR10	TRDPR00	優先順位レベルの選択
0	0	レベル 0 を指定（高優先順位）
0	1	レベル 1 を指定
1	0	レベル 2 を指定
1	1	レベル 3 を指定（低優先順位）

タイマRDモードレジスタ設定

• タイマRDモードレジスタ(TRDMR)
TRDGRC0、TRDGRD0レジスタをジェネラルレジスタとして使用します。

略号	7	6	5	4	3	2	1	0
TRDMR	BFD1	BFC1	BFD0	BFC0	ー	ー	ー	SYNC
設定値	×	×	0	0	ー	ー	ー	

ビット5

BFD0	TRDGRD0 レジスタ機能選択
0	ジェネラルレジスタ
1	TRDGRB0 レジスタのバッファレジスタ

ビット4

BFC0	TRDGRC0 レジスタ機能選択
0	ジェネラルレジスタ
1	TRDGRA0 レジスタのバッファレジスタ

ビット0

SYNC	タイマ RD 同期
0	TRD0 と TRD1 は独立動作
1	TRD0 と TRD1 は同期動作

レジスタ設定の詳細については、RL78/G14ユーザーズマニュアルハードウェア編を参照してください。
レジスタ図の設定値
×：使用しないビット、空白：変更しないビット、ー：予約ビットまたは、何も配置されていないビット

タイマRD PWM機能選択

• タイマRD PWM機能選択レジスタ(TRDPMR)
TRDIOB0、TRDIOC0、TRDIOD0端子にPWM機能を設定します。

略号	7	6	5	4	3	2	1	0
TRDPMR	ー	PWMD1	PWMC1	PWMB1	ー	PWMD0	PWMC0	PWMB0
設定値	ー	×	×	×	ー	1	1	1

ビット2

PWMD0	TRDIOD0 PWM 機能選択
0	インプットキャプチャ機能またはアウトプットコンペア機能
1	PWM 機能

ビット1

PWMC0	TRDIOC0 PWM 機能選択
0	インプットキャプチャ機能またはアウトプットコンペア機能
1	PWM 機能

ビット0

PWMB0	TRDIOB0 PWM 機能選択
0	インプットキャプチャ機能またはアウトプットコンペア機能
1	PWM 機能

パルス強制遮断禁止

• タイマRDデジタルフィルタ機能選択レジスタ0(TRDDF0)
TRDIOB0、TRDIOC0、TRDIOD0端子のパルス強制遮断を禁止します。

略号	7	6	5	4	3	2	1	0
TRDDF0	DFCK1	DFCK0	PENB1	PENB0	DFD	DFC	DFB	DFA
設定値	×	×	0	0	0	0	0	0

ビット5-4

PENB1	PENB0	TRDIOB0 端子パルス強制遮断制御
0	0	強制遮断禁止
0	1	ハイインピーダンス出力
1	0	L 出力
1	1	H 出力
これらのモードで対応する端子をタイマ RD の出力ポートとして使用しない場合，強制遮断禁止の 00B に設定してください。また，カウント停止中に設定してください。		

レジスタ設定の詳細については、RL78/G14ユーザーズマニュアルハードウェア編を参照してください。
レジスタ図の設定値
×：使用しないビット、空白：変更しないビット、ー：予約ビットまたは、何も配置されていないビット

ビット3-2

DFD	DFC	TRDIOC0 端子パルス強制遮断制御
0	0	強制遮断禁止
0	1	ハイインピーダンス出力
1	0	L 出力
1	1	H 出力
これらのモードで対応する端子をタイマ RD の出力ポートとして使用しない場合，強制遮断禁止の 00B に設定してください。また，カウント停止中に設定してください。		

ビット1-0

DFB	DFA	TRDIOD0 端子パルス強制遮断制御
0	0	強制遮断禁止
0	1	ハイインピーダンス出力
1	0	L 出力
1	1	H 出力
これらのモードで対応する端子をタイマ RD の出力ポートとして使用しない場合，強制遮断禁止の 00B に設定してください。また，カウント停止中に設定してください。		

タイマRD出力設定

• タイマRD出力マスタ許可レジスタ1(TRDOER1)
TRDIOA0端子の出力を禁止、TRDIOB0、TRDIOC0、TRDIOD0端子の出力を許可に設定します。

略号	7	6	5	4	3	2	1	0
TRDOER1	ED1	EC1	EB1	EA1	ED0	EC0	EB0	EA0
設定値	×	×	×	×	0	0	0	1

ビット3

ED0	TRDIOD0 出力禁止
0	出力許可
1	出力禁止（TRDIOD0 端子は I/O ポート）

ビット2

EC0	TRDIOC0 出力禁止
0	出力許可
1	出力禁止（TRDIOC0 端子は I/O ポート）

ビット1

EB0	TRDIOB0 出力禁止
0	出力許可
1	出力禁止（TRDIOB0 端子は I/O ポート）

レジスタ設定の詳細については、RL78/G14ユーザーズマニュアルハードウェア編を参照してください。
レジスタ図の設定値
×：使用しないビット、空白：変更しないビット、－：予約ビットまたは、何も配置されていないビット

ビット0

EA0	TRDIOA0 出力禁止
0	出力許可
1	出力禁止（TRDIOA0 端子は I/O ポート）

PWM機能では、1にしてください。

初期出力レベル設定

• タイマRD出力制御レジスタ(TRDOCR)

TRDIOB0、TRDIOC0、TRDIOD0端子の初期出力レベルを設定します。

略号	7	6	5	4	3	2	1	0
TRDOCR	TOD1	TOC1	TOB1	TOA1	TOD0	TOC0	TOB0	TOA0
設定値	×	×	×	×	0	0	0	×

ビット3

TOD0	TRDIOD0 初期出力レベル選択
0	初期出力は非アクティブレベル
1	初期出力はアクティブレベル

ビット2

TOC0	TRDIOC0 初期出力レベル選択
0	初期出力は非アクティブレベル
1	初期出力はアクティブレベル

ビット1

TOB0	TRDIOB0 初期出力レベル選択
0	初期出力は非アクティブレベル
1	初期出力アクティブレベル

タイマRD制御レジスタ設定

• タイマRD制御レジスタ0(TRDCR0)

TRD0 レジスタクリアタイミングに TRDGRA0 レジスタとのコンペア一致を設定します。タイマRD0のカウントソースにf_{CLK}を設定します。

略号	7	6	5	4	3	2	1	0
TRDCR0	CCLR2	CCLR1	CCLR0	CKEG1	CKEG0	TCK2	TCK1	TCK0
設定値	0	0	1	×	×	0	0	0

ビット7-5

CCLR2	CCLR1	CCLR0	TRD0 カウンタクリア選択
001B （TRDGRA0 レジスタとのコンペアー致で TRD0 レジスタクリア）にしてください。			

レジスタ設定の詳細については、RL78/G14ユーザーズマニュアルハードウェア編を参照してください。

レジスタ図の設定値

×：使用しないビット、空白：変更しないビット、－：予約ビットまたは、何も配置されていないビット

ビット2-0

TCK2	TCK1	TCK0	カウントソース選択
0	0	0	f_{CLK}, f_{HOCO}
0	0	1	f_{CLK}/2
0	1	0	f_{CLK}/4
0	1	1	f_{CLK}/8
1	0	0	f_{CLK}/32
1	0	1	TRDCLK 入力
1	1	0	設定しないでください
1	1	1	設定しないでください

コンペアー致割り込み設定

• タイマRD割り込み許可レジスタ0(TRDIER0)

IMFAビットによる割り込み(IMIA)許可に設定します。

略号	7	6	5	4	3	2	1	0
TRDIER0	ー	ー	ー	OVIE	IMIED	IMIEC	IMIEB	IMIEA
設定値	ー	ー	ー	×	0	0	0	1

ビット3

IMIED	インプットキャプチャ / コンペアー致割り込み許可 D
0	IMFD ビットによる割り込み（IMID）禁止
1	IMFD ビットによる割り込み（IMID）許可

ビット2

IMIEC	インプットキャプチャ / コンペアー致割り込み許可 C
0	IMFC ビットによる割り込み（IMIC）禁止
1	IMFC ビットによる割り込み（IMIC）許可

ビット1

IMIEB	インプットキャプチャ / コンペアー致割り込み許可 B
0	IMFB ビットによる割り込み（IMIB）禁止
1	IMFB ビットによる割り込み（IMIB）許可

ビット0

IMIEA	インプットキャプチャ / コンペアー致割り込み許可 A
0	IMFA ビットによる割り込み（IMIA）禁止
1	IMFA ビットによる割り込み（IMIA）許可

レジスタ設定の詳細については、RL78/G14ユーザーズマニュアルハードウェア編を参照してください。

レジスタ図の設定値

×：使用しないビット、空白：変更しないビット、ー：予約ビットまたは、何も配置されていないビット

出力レベル選択

• タイマRD PWM機能出力レベル制御レジスタ0(TRDPOCR0)
TRDIOC0、TRDIOB0、TRDIOD0端子の出力レベルは、アクティブレベルHに設定します。

略号	7	6	5	4	3	2	1	0
TRDPOCR0	－	－	－	－	－	POLD	POLC	POLB
設定値	－	－	－	－	－	1	1	1

ビット2

POLD	PWM 機能出力レベル制御 D
0	TRDIOD0 の出力レベルはアクティブレベル L
1	TRDIOD0 の出力レベルはアクティブレベル H

ビット1

POLC	PWM 機能出力レベル制御 C
0	TRDIOC0 の出力レベルはアクティブレベル L
1	TRDIOC0 の出力レベルはアクティブレベル H

ビット0

POLB	PWM 機能出力レベル制御 B
0	TRDIOB0 の出力レベルはアクティブレベル L
1	TRDIOB0 の出力レベルはアクティブレベル H

PWM周期設定

• タイマRDジェネラルレジスタA0(TRDGRA0)
PWM周期を100μsに設定します。

略号	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
TRDGRA0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
設定値	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1

－	機能	設定範囲
ビット 15 ～ 0	表 4.3 の PWM 機能時の TRDGRA0 レジスタの機能参照	0000H ～ FFFFH

レジスタ設定の詳細については、RL78/G14ユーザーズマニュアルハードウェア編を参照してください。
レジスタ図の設定値
×：使用しないビット、空白：変更しないビット、－：予約ビットまたは、何も配置されていないビット

PWM出力変化点設定

• タイマRDジェネラルレジスタB0(TRDGRB0)

カウント開始から25μs後にTRDIOB0端子の出力が変化するように設定します。

略号	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
TRDGRB0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
設定値	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	1	1

－	機能	設定範囲
ビット 15 ～ 0	表 4.3 の PWM 機能時の TRDGRB0 レジスタ機能参照	0000H ～ FFFFH

• タイマRDジェネラルレジスタC0(TRDGRC0)

カウント開始から50μs後にTRDIOC0端子の出力が変化するように設定します。

略号	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
TRDGRC0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
設定値	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1

－	機能	設定範囲
ビット 15 ～ 0	表 4.3 の PWM 機能時の TRDGRC0 レジスタ機能参照	0000H ～ FFFFH

• タイマRDジェネラルレジスタD0(TRDGRD0)

カウント開始から75μs後にTRDIOD0端子の出力が変化するように設定します。

略号	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
TRDGRD0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
設定値	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	1	1	1

－	機能	設定範囲
ビット 15 ～ 0	表 4.3 の PWM 機能時の TRDGRD0 レジスタ機能参照	0000H ～ FFFFH

表 4.3　PWM機能時のジェネラルレジスタの機能

レジスタ	設定	レジスタの機能	PWM 出力端子
TRDGRA0	—	ジェネラルレジスタ。PWM 周期を設定してください。	—
TRDGRB0	—	ジェネラルレジスタ。PWM 出力の変化点を設定してください。	TRDIOB0
TRDGRC0	BFC0 = 0	ジェネラルレジスタ。PWM 出力の変化点を設定してください。	TRDIOC0
TRDGRD0	BFD0 = 0		TRDIOD0
TRDGRC0	BFC0 = 1	バッファレジスタ。次回の PWM 周期を設定してください。	—
TRDGRD0	BFD0 = 1	バッファレジスタ。次回の PWM 出力の変化点を設定してください。	TRDIOB0

レジスタ設定の詳細については、RL78/G14ユーザーズマニュアルハードウェア編を参照してください。

レジスタ図の設定値

×：使用しないビット、空白：変更しないビット、－：予約ビットまたは、何も配置されていないビット

ポートレジスタ設定

• ポート・レジスタ1(P1)

ポート・レジスタ1を設定します。

略号	7	6	5	4	3	2	1	0
P1	P17	P16	P15	P14	P13	P12	P11	P10
設定値	×	0	0	0	×	×	×	×

ビット6

P16	出力データの制御
0	0 を出力
1	1 を出力

ビット5

P15	出力データの制御
0	0 を出力
1	1 を出力

ビット4

P14	出力データの制御
0	0 を出力
1	1 を出力

• ポート・モード・レジスタ1(PM1)

P16～P14端子を出力モードに設定します。

略号	7	6	5	4	3	2	1	0
PM1	PM17	PM16	PM15	PM14	PM13	PM12	PM11	PM10
設定値	×	0	0	0	×	×	×	×

ビット6

PM16	P16 端子の入出力モードの選択
0	出力モード（出力バッファ・オン）
1	入力モード（出力バッファ・オフ）

ビット5

PM15	P15 端子の入出力モードの選択
0	出力モード（出力バッファ・オン）
1	入力モード（出力バッファ・オフ）

ビット4

PM14	P14 端子の入出力モードの選択
0	出力モード（出力バッファ・オン）
1	入力モード（出力バッファ・オフ）

レジスタ設定の詳細については、RL78/G14ユーザーズマニュアルハードウェア編を参照してください。

レジスタ図の設定値

×：使用しないビット、空白：変更しないビット、－：予約ビットまたは、何も配置されていないビット

4.5.6 メイン処理

図 4.8にメイン処理のフローチャートを示します。

図 4.8 メイン処理

4.5.7 タイマRDカウント開始設定

図 4.9にタイマRDカウント開始設定のフローチャートを示します。

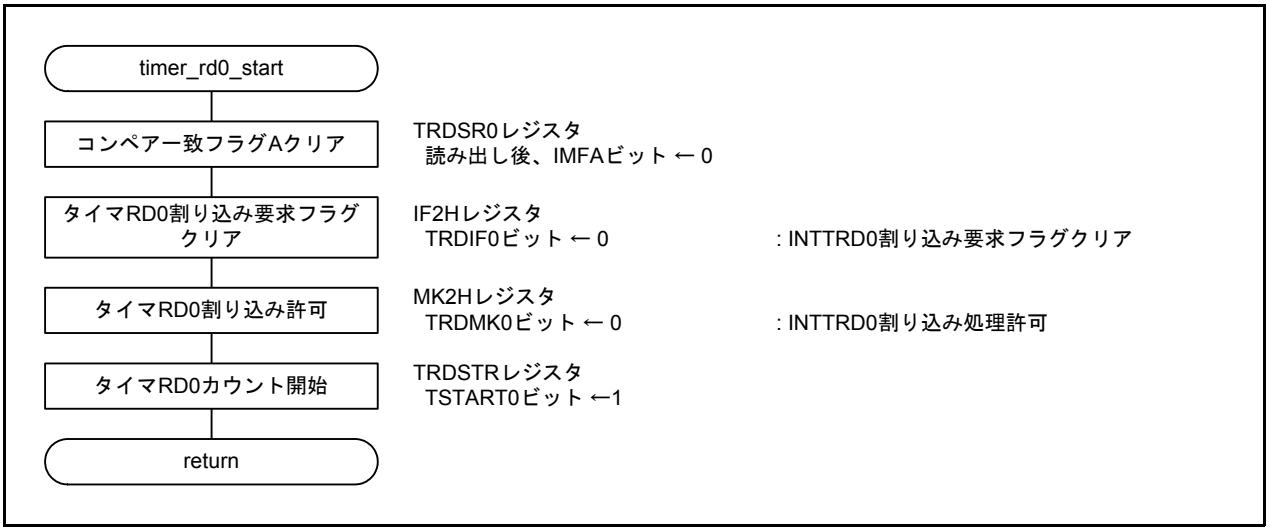


図 4.9 タイマRDカウント開始設定

コンペアー致フラグAクリア

• タイマRDステータスレジスタ0(TRDSR0)
タイマRDステータスレジスタ0を読んだ後、コンペアー致フラグAをクリアします。

略号	7	6	5	4	3	2	1	0
TRDSR0	ー	ー	ー	OVF	IMFD	IMFC	IMFB	IMFA
設定値	ー	ー	ー	×	×	×	×	0

ビット0

IMFA	インプットキャプチャ / コンペアー致フラグ A
[0 になる要因] 読んだ後 , 0 を書く [1 になる要因] TRD0 と TRDGRA0 の値が一致したとき	

タイマRD0割り込み要求フラグクリア

• 割り込み要求フラグ・レジスタ(IF2H)
INTTRD0割り込み要求フラグをクリアします。

略号	7	6	5	4	3	2	1	0
IF2H	FLIF	IICAIF1	0	SREIF3 TMIF13H	TRGIF	TRDIF1	TRDIF0	PIF11 CMPIF1
設定値	×	×	ー	×	×	×	0	×

ビット1

TRDIF0	割り込み要求フラグ
0	割り込み要求信号が発生していない
1	割り込み要求信号が発生し，割り込み要求状態

タイマRD0割り込み許可

• 割り込みマスク・フラグ・レジスタ(MK2H)
INTTRD0割り込みを許可に設定します。

略号	7	6	5	4	3	2	1	0
MK2H	FLMK	IICAMK1	1	SREMK3 TMMK13H	TRGMK	TRDMK1	TRDMK0	PMK11 CMPMK1
設定値	×	×	ー	×	×	×	0	×

ビット1

TRDMK0	割り込み処理の制御
0	割り込み処理許可
1	割り込み処理禁止

レジスタ設定の詳細については、RL78/G14ユーザーズマニュアルハードウェア編を参照してください。
レジスタ図の設定値
×：使用しないビット、空白：変更しないビット、ー：予約ビットまたは、何も配置されていないビット

タイマRD0カウント開始

• タイマRDモードレジスタ (TRDSTR)
タイマRD0のカウントを開始します。

略号	7	6	5	4	3	2	1	0
TRDSTR	ー	ー	ー	ー	CSEL1	CSEL0	TSTART1	TSTART0
設定値	ー	ー	ー	ー	×		×	1

ビット0

TSTART0	TRD0 カウント開始フラグ
0	カウント停止
1	カウント開始

4.5.8 タイマRD0割り込み

図 4.10にタイマRD0割り込みのフローチャートを示します。

図 4.10 タイマRD0割り込み

レジスタ設定の詳細については、RL78/G14ユーザーズマニュアルハードウェア編を参照してください。
レジスタ図の設定値
×：使用しないビット、空白：変更しないビット、ー：予約ビットまたは、何も配置されていないビット

5. サンプルコード

サンプルコードは、ルネサス エレクトロニクスホームページから入手してください。

6. 参考ドキュメント

RL78/G14 ユーザーズマニュアル ハードウェア編　Rev.0.02
RL78ファミリ ユーザーズマニュアル ソフトウェア編　Rev.1.00
(最新版をルネサス エレクトロニクスホームページから入手してください。)

テクニカルアップデート
(最新の情報をルネサス エレクトロニクスホームページから入手してください。)

ホームページとサポート窓口

ルネサス エレクトロニクスホームページ
http://japan.renesas.com/

お問合せ先
http://japan.renesas.com/contact

改訂記録	RL78/G14 タイマRD タイマモード(PWM機能)

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	2012.01.20	−	初版発行
1.10	2013.06.01	4	図2.1　誤記修正
		5	図3.1　誤記修正

すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。

製品ご使用上の注意事項

ここでは、マイコン製品全体に適用する「使用上の注意事項」について説明します。個別の使用上の注意事項については、本ドキュメントおよびテクニカルアップデートを参照してください。

1. 未使用端子の処理
   【注意】未使用端子は、本文の「未使用端子の処理」に従って処理してください。
   CMOS 製品の入力端子のインピーダンスは、一般に、ハイインピーダンスとなっています。未使用端子を開放状態で動作させると、誘導現象により、LSI 周辺のノイズが印加され、LSI 内部で貫通電流が流れたり、入力信号と認識されて誤動作を起こす恐れがあります。未使用端子は、本文「未使用端子の処理」で説明する指示に従い処理してください。
2. 電源投入時の処置
   【注意】電源投入時は，製品の状態は不定です。
   電源投入時には、LSI の内部回路の状態は不確定であり、レジスタの設定や各端子の状態は不定です。
   外部リセット端子でリセットする製品の場合、電源投入からリセットが有効になるまでの期間、端子の状態は保証できません。
   同様に、内蔵パワーオンリセット機能を使用してリセットする製品の場合、電源投入からリセットのかかる一定電圧に達するまでの期間、端子の状態は保証できません。
3. リザーブアドレス（予約領域）のアクセス禁止
   【注意】リザーブアドレス（予約領域）のアクセスを禁止します。
   アドレス領域には、将来の機能拡張用に割り付けられているリザーブアドレス（予約領域）があります。これらのアドレスをアクセスしたときの動作については、保証できませんので、アクセスしないようにしてください。
4. クロックについて
   【注意】リセット時は、クロックが安定した後、リセットを解除してください。
   プログラム実行中のクロック切り替え時は、切り替え先クロックが安定した後に切り替えてください。
   リセット時、外部発振子（または外部発振回路）を用いたクロックで動作を開始するシステムでは、クロックが十分安定した後、リセットを解除してください。また、プログラムの途中で外部発振子（または外部発振回路）を用いたクロックに切り替える場合は、切り替え先のクロックが十分安定してから切り替えてください。
5. 製品間の相違について
   【注意】型名の異なる製品に変更する場合は、製品型名ごとにシステム評価試験を実施してください。
   同じグループのマイコンでも型名が違うと、内部 ROM、レイアウトパターンの相違などにより、電気的特性の範囲で、特性値、動作マージン、ノイズ耐量、ノイズ輻射量などが異なる場合があります。型名が違う製品に変更する場合は、個々の製品ごとにシステム評価試験を実施してください。

ご注意書き

1. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。お客様の機器・システムの設計において、回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合には、お客様の責任において行ってください。これらの使用に起因して、お客様または第三者に生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
2. 本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したものですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。
3. 本資料に記載された製品データ、図、表、プログラム、アルゴリズム、応用回路例等の情報の使用に起因して発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権に対する侵害に関し、当社は、何らの責任を負うものではありません。当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
4. 当社製品を改造、改変、複製等しないでください。かかる改造、改変、複製等により生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
5. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」および「高品質水準」に分類しており、
   各品質水準は、以下に示す用途に製品が使用されることを意図しております。
   標準水準： コンピュータ、OA機器、通信機器、計測機器、AV機器、
   家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット等
   高品質水準：輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通用信号機器、
   防災・防犯装置、各種安全装置等
   当社製品は、直接生命・身体に危害を及ぼす可能性のある機器・システム（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの等）、もしくは多大な物的損害を発生させるおそれのある機器・システム（原子力制御システム、軍事機器等）に使用されることを意図しておらず、使用することはできません。たとえ、意図しない用途に当社製品を使用したことによりお客様または第三者に損害が生じても、当社は一切その責任を負いません。なお、ご不明点がある場合は、当社営業にお問い合わせください。
6. 当社製品をご使用の際は、当社が指定する最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他の保証範囲内でご使用ください。当社保証範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
7. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めていますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は耐放射線設計については行っておりません。当社製品の故障または誤動作が生じた場合も、人身事故、火災事故、社会的損害等を生じさせないよう、お客様の責任において、冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、お客様の機器・システムとしての出荷保証を行ってください。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様の機器・システムとしての安全検証をお客様の責任で行ってください。
8. 当社製品の環境適合性等の詳細につきましては、製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制するRoHS指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。お客様がかかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関して、当社は、一切その責任を負いません。
9. 本資料に記載されている当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器・システムに使用することはできません。また、当社製品および技術を大量破壊兵器の開発等の目的、軍事利用の目的その他軍事用途に使用しないでください。当社製品または技術を輸出する場合は、「外国為替及び外国貿易法」その他輸出関連法令を遵守し、かかる法令の定めるところにより必要な手続を行ってください。
10. お客様の転売等により、本ご注意書き記載の諸条件に抵触して当社製品が使用され、その使用から損害が生じた場合、当社は何らの責任も負わず、お客様にてご負担して頂きますのでご了承ください。
11. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを禁じます。

注1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサスエレクトロニクス株式会社およびルネサスエレクトロニクス株式会社がその総株主の議決権の過半数を直接または間接に保有する会社をいいます。
注2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注１において定義された当社の開発、製造製品をいいます。

ルネサス エレクトロニクス株式会社

■営業お問合せ窓口 http://www.renesas.com

※営業お問合せ窓口の住所は変更になることがあります。最新情報につきましては、弊社ホームページをご覧ください。

ルネサス エレクトロニクス販売株式会社 〒100-0004 千代田区大手町 2-6-2（日本ビル）

■技術的なお問合せおよび資料のご請求は下記へどうぞ。
総合お問合せ窓口：http://japan.renesas.com/contact/

© 2013 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.

Colophon 2.1